

地域とともに発展を目指す“開かれた大学院”

# 市民とつくる “北東アジア研究交流懇談の集い”

## 北東アジア地域研究センター(NEARセンター) 市民研究員制度

みなさんの興味と知識を通じて研究センターで交流しませんか？  
市民研究員にぜひご就任ください。

## 10/7 “北東アジア研究交流懇談の集い”

まずは大学院生、NEARセンター研究員、本学教員と懇談。  
ぜひ、御参加下さい。

## 大学院北東アジア研究科

### 文部科学省「魅力ある大学院教育」イニシアティブ採択 実践的北東アジア研究者の養成プログラム “NEARセンター市民研究員との共同研究”

大学院生・教員とのグループ研究を通じて「研究」を実践。  
大学院生に新鮮な知的な刺激を与えることで大学院教育にご協力ください。

「NEARセンター市民研究員制度」と「実践的北東アジア研究者の養成プログラム」のご説明をかねて、“北東アジア研究交流懇談の集い”を下記の通り開催いたします。本状末尾の参加申込書をご提出の上（9月29日までに）、お気軽にご参集ください。

### 記

- とき 2006年10月7日(土) 13:30～
- ところ 島根県立大学交流センター
- 次第 学長挨拶、NEARセンター概要・市民研究員制度説明、参加者自己紹介  
施設見学、交流会(17:00～、ビューラインにて)
- お問い合わせ 〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2  
島根県立大学事務局総合企画スタッフ  
TEL. 0855(24)2201; FAX. 0855(24)2208; E-Mail:kikaku@admin.u-shimane.ac.jp

●島根県立大学北東アジア地域研究センター●島根県立大学大学院北東アジア研究科

## NEAR センター市民研究員制度の発足と 「実践的北東アジア研究者の養成プログラム」へのご協力をお願い

平成 18 年 9 月 4 日  
島根県立大学長 宇野重昭

このたび、島根県立大学大学院北東アジア研究科の“実践的北東アジア研究者の養成プログラム”が、「魅力ある大学院教育」イニシアティブ(文部省高等教育局)の助成対象として選ばれました。文科系公立大学院としては昨年度からこの制度がスタートして以来初めてのことです。

このプログラムには様々な取り組みがありますが、とくに、“NEAR センター市民研究員との共同研究”は各方面から注目されています。これは、北東アジア研究科での教育と本学北東アジア地域研究センター(NEAR センター)が今年度着手する「市民研究員制度」とを組み合わせ、従来とは異なる教育的効果を狙う取り組みです。

本学は、開学の早い段階から大学院入門レベルの「NEAR カレッジ」を開催してきました。そして、実社会で豊かな経験をお持ちの優秀な方々が多数おられることに感銘を受け、それぞれの時間の許される範囲内で北東アジア研究の発展に参加していただこうと考えてきました。「市民研究員制度」とは、北東アジア地域に対して強い関心をお持ちの市民の方に NEAR センターの市民研究員に就任していただき、適宜、センターでの研究交流を進めていただく制度ですが、さらにその中から、北東アジア研究科で学ぶ大学院生や教員と共同で、日本や島根を含む広い意味での北東アジアに関する研究を進めていただくことにより、キャンパスの外の発想を大学に持ち込んで、大学院教育と研究を刺激していただこうというのが、この“NEAR センター市民研究員との共同研究”です。

今年度は、5回程度の共同研究会(学外の専門家の講演も計画中)を開き、市民の方も大学院生も若手研究者も、随時、構想やアイデアを提起していただくつもりです。ある程度研究交流が進んだならば、必要に応じて近隣の北東アジア地域を訪問する少数のチームをつくっていただきたいと思います。その成果は、ワーキング・ペーパーとして印刷する計画です。独自に本格的な研究論文を発表されることも期待します。

そのような制度を発足させるため、この共同研究会開催の前に、大学院生や教職員も加えた「研究交流懇談の集い」を、北東アジア研究センターで開催し、本学のメンバーと知り合うとともに、制度のあらましとルールをご説明いたします。自信のあるなしを問わず、どうかお気軽に、そして積極的にご参加ください。

# 市民研究員のイメージ

北東アジアに興味あり

市民の皆さん

地域研究に興味あり

## NEARセンター市民研究員

市民研究員に登録すると...

- ・市民研究員共同研究会参加
- ・NEARセンターの各種研究会参加
- ・メディアセンター(図書館)利用
- ・学内刊行物各種贈呈
- ・論考をワーキングペーパーに掲載などの機会をご提供

## NEARセンター 市民研究員

市民研究員の義務は？

- ⇒特定の義務はありません。
- ☆市民研究員共同研究会にできるだけお越しください。
- ☆NEARセンター研究員や本学教員、大学院生たちと北東アジアや地域の課題をなどを話題に気軽に語り合しましょう。

### 交流懇談の集い (18.10.7)

### 共同研究会 (18年度は5回予定)

院生・教員とテーマで意気投合！

### 共同研究グループ

を作ってください

11月下旬までに共同研究計画書をご提出ください

共同研究経費の一部を助成します  
(「実践的北東アジア研究者の養成プログラム」)

フィールドワークや  
文献調査

たとえば、  
この助成金で  
グループで活動

北東アジア地域へ  
研究調査

☆共同研究グループには市民研究員の中から共同研究に参画していただき市民の立場からの知識を院生に与えることで、大学院教育にご協力頂きます。

今年度末(3月)に共同研究の成果をご報告頂きます。

(グループ構成:市民共同研究員+院生+研究員・教員)

## 参加登録申込書

(以下の事項にご記入の上、このページを切り離し、郵送またはFAXにてお送りください)

※なお、準備の都合上9月29日(金)までに御願います。

- ・北東アジア研究交流懇談の集いに      参加します・しません (○をお付けください)
- ・NEAR センター市民研究員に              登録します・しません・未定 (○をお付けください)

○お名前

○ご住所 (〒            -            )

TEL:

E-Mail:

○何らかの形で北東アジアについて興味があればご自由にお書きください。

○上記に関し取り組んでみたい研究をお持ちの方はご自由にお書きください。